

<施工図システム>

1. 軸図作成 斜め通りの裏軸に対応
2. 軸図作成 小梁ガセットの作図の設定を追加
3. 基準設定 コラム柱の裏当ての設定の追加
4. ベース追加 NC ベース P(PS タイプ)<4 本タイプ高強度鋼板>
5. 梁配置 コア設定の修正
6. 梁の修正 小梁ガセットとリブの出力の有無の設定を追加
7. 間柱 柱部材入力で開先の有無を選択
8. 間柱E V (角パイプ) ジョイントのタイプの追加
9. 間柱耐風梁配置 継手タイプ修正
10. 平面ブレス ブレスシートの出力設定の追加
11. 平面ブレス 溶接梁に垂直配置の対応
12. 平面ブレス・軸ブレス 原寸型紙にメッキの枚数を表示
13. 軸ブレス 押えリブの修正
14. スリーブ ハイリング新形状追加(Sタイプ,R+Sタイプ)
15. 折板受け 溶接プレートに対応
16. ダイア修正 タイプ変更時の材質連動
17. 胴縁ピース読込 斜め通りの内胴縁ピース (横胴縁) に対応
18. 胴縁ピース読込 内胴縁ピース (縦胴縁) に対応
19. 仕口リスト ノンスカラップのダイア部の作図を簡略化
20. 梁詳細図 (単品図) 軸ブレスの断面図を表示
21. 梁単品図 断面倍率設定、ヒゲ形状選択追加
22. 材料リスト スプラインプレート、メッキの有無対応
23. 材料リスト 非破壊検査表の出力を追加
24. 材料リスト メッキボルト設定の追加
25. 材料リスト ピン接建て方用仮ボルト設定追加

<胴縁システム>

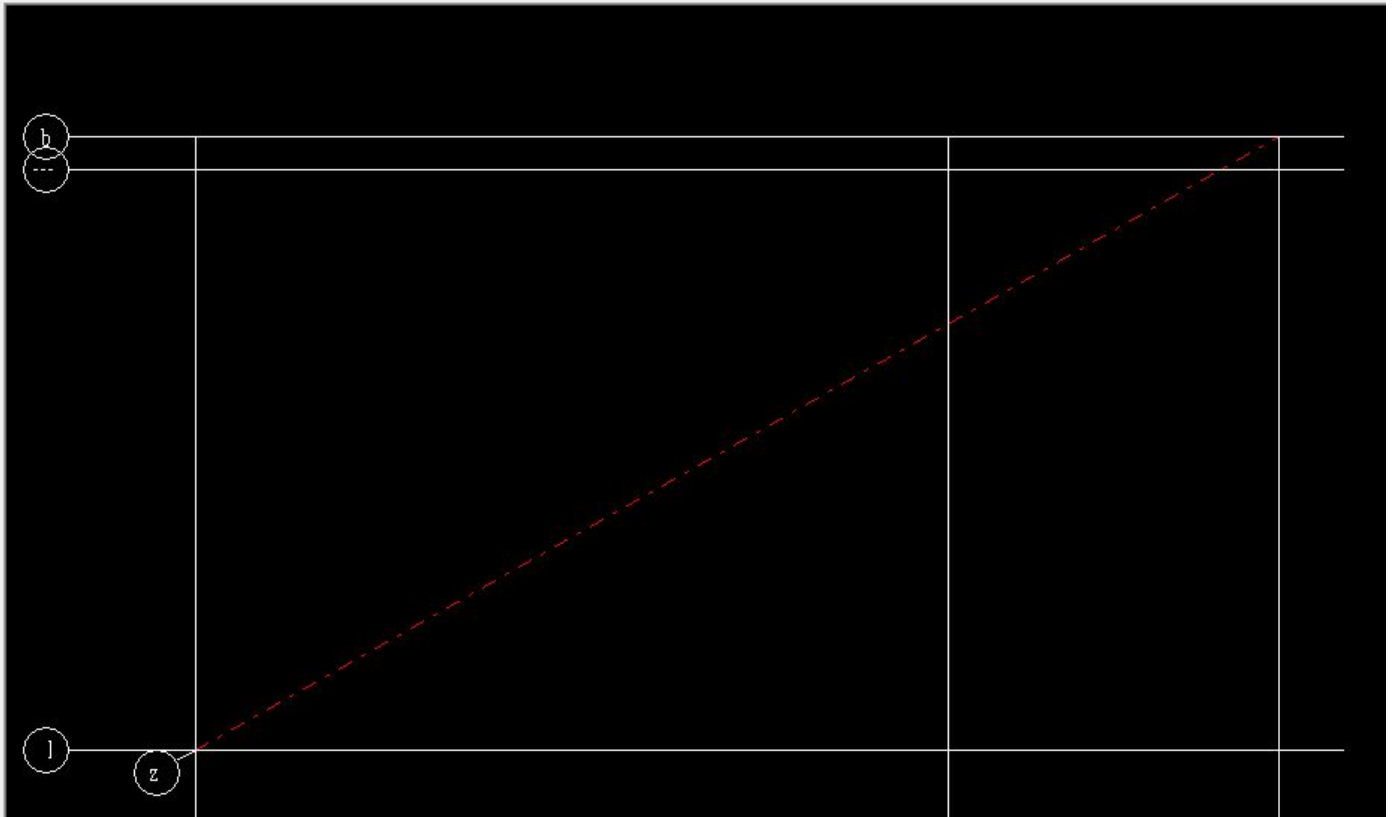
1. 組立図 断面の縮尺設定、断面に通り芯を作図する
2. 加工図 寸法線の作図設定の追加
3. 加工図 溶接ピースの隙間の有無の設定を追加
4. 加工図 角パイプの片孔に対応
5. リスト作成 ピースの原寸型紙の出力を追加
6. 画面表示 C材の刃を破線で作図する設定を追加
7. 画面表示 メニュー項目等の文字サイズの設定を追加
8. 画面表示の修正
9. NCデータ作成 (オプション機能)

<施工図システム>

1. 軸図作成 斜め通りの裏軸に対応

<図面作成> - <図面レイアウト> - <裏軸設定>

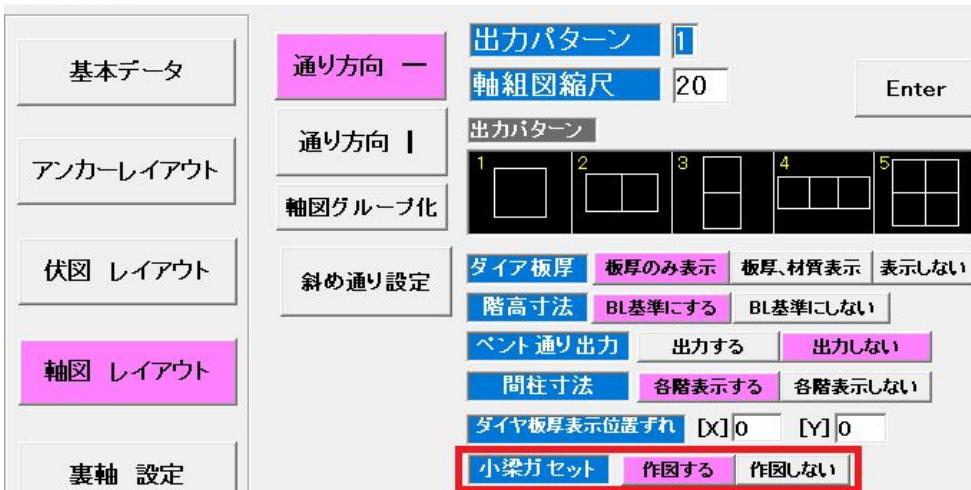
裏軸 設定



2. 軸図作成 小梁ガセットの作図の設定を追加

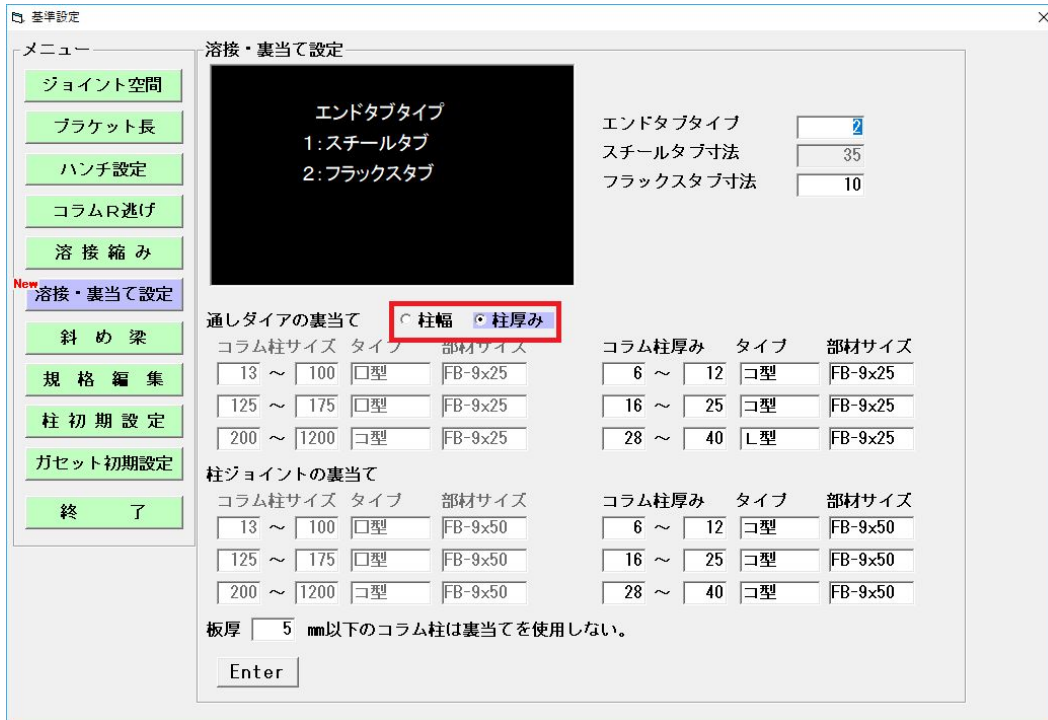
<図面作成> - <図面レイアウト> - <軸図レイアウト> - <小梁ガセット>

図面レイアウト



3. 基準設定 コラム柱の裏当ての設定の追加

「柱幅」と「柱厚み」の選択を追加しました。

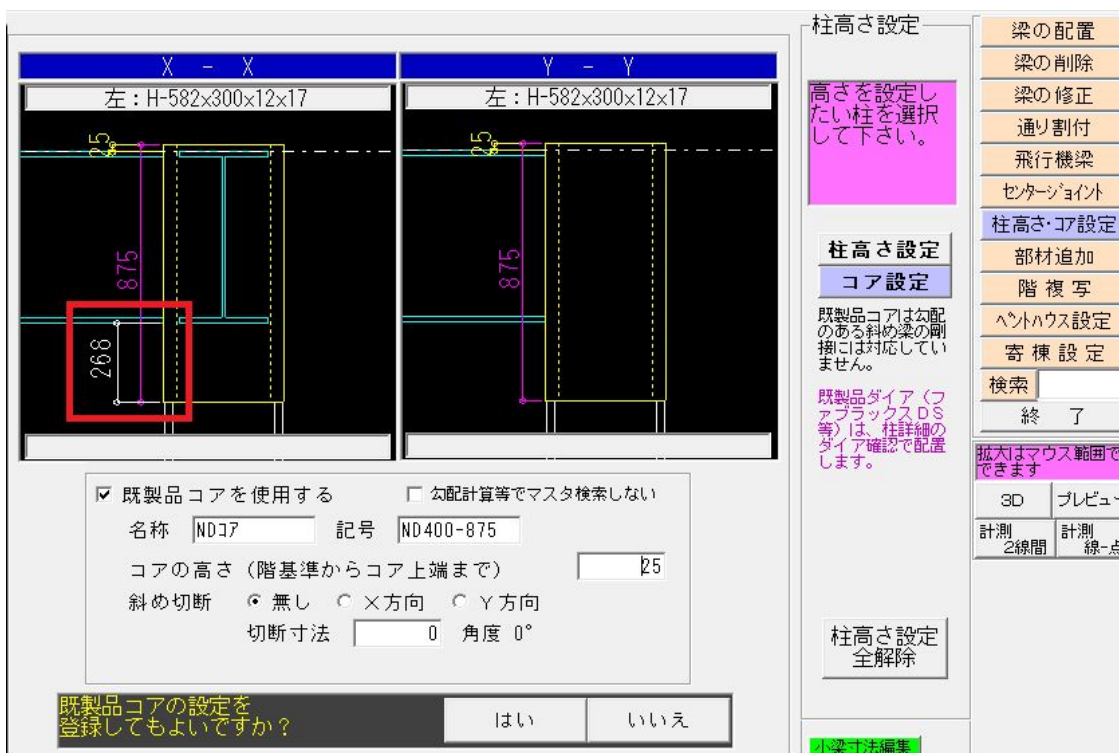


4. ベース追加 NC ベース P(PS タイプ)〈4本タイプ高強度鋼板〉

高強度鋼板使用のベースプレートの4本タイプ、角形鋼管用Bタイプを追加しました。

5. 梁配置 コア設定の修正

既製品コア下端から梁下端までの寸法表示を追加しました。NDコアは斜め切りに変更した場合はマスターを再検索します。



6. 梁の修正 小梁ガセットとリブの出力の有無の設定を追加

梁配置情報

B1 H-200x100x5.5x8 合番 2B1-1

左端部	右端部
継手タイプ <input type="radio"/> 溶接梁 <input checked="" type="radio"/> ピン接合 <input type="radio"/> 剛接合	継手タイプ <input type="radio"/> 溶接梁 <input checked="" type="radio"/> ピン接合 <input type="radio"/> 剛接合
フラケット基準 <input type="radio"/> 通り芯 <input type="radio"/> 梁外面 <input checked="" type="radio"/> 梁内面 <input checked="" type="radio"/> 梁芯	フラケット基準 <input type="radio"/> 通り芯 <input type="radio"/> 梁外面 <input checked="" type="radio"/> 梁内面 <input checked="" type="radio"/> 梁芯
フラケット長 <input type="text" value="0"/>	フラケット長 <input type="text" value="0"/>
クリアランス <input type="text" value="10"/>	クリアランス <input type="text" value="10"/>
ジョイントマーク <input type="text" value="BJ2"/>	ジョイントマーク <input type="text" value="BJ2"/>
高さ設定 (FLを基準に上下) <input type="text" value="-160"/>	高さ設定 (FLを基準に上下) <input type="text" value="-160"/>
梁高さ (鉄骨天に対して) <input type="text" value="0"/> 地面に垂直 勾配なり	
ハンチ設定 ハンチ距離 <input type="text" value="0"/> <input checked="" type="radio"/> ブラケット先端から <input type="radio"/> 柱面から <input type="radio"/> スプライス端部から	ハンチ設定 ハンチ距離 <input type="text" value="0"/> <input checked="" type="radio"/> ブラケット先端から <input type="radio"/> 柱面から <input type="radio"/> スプライス端部から
ウェーブカット <input checked="" type="radio"/> 基本設定 <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	ウェーブカット <input checked="" type="radio"/> 基本設定 <input type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり
フランジ 斜めカット <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> 刃落とし <input type="radio"/> 全度切り	フランジ 斜めカット <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> 刃落とし <input type="radio"/> 全度切り
<input checked="" type="checkbox"/> 下フランジ両刃落とし	<input checked="" type="checkbox"/> 下フランジ両刃落とし
ダイアミミ <input type="text" value="0"/> <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	ダイアミミ <input type="text" value="0"/> <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
<input type="checkbox"/> ガセットを曲げる	<input type="checkbox"/> ガセットを曲げる
型紙出力 <input checked="" type="checkbox"/> ガセット <input checked="" type="checkbox"/> リブ	型紙出力 <input checked="" type="checkbox"/> ガセット <input checked="" type="checkbox"/> リブ
納め方向 <input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/> 梁芯逃げ (通り芯より) <input type="text" value="50"/>	表示色 <input type="button" value="折れ梁設定"/>

7. 間柱 柱部材入力で開先の有無を選択

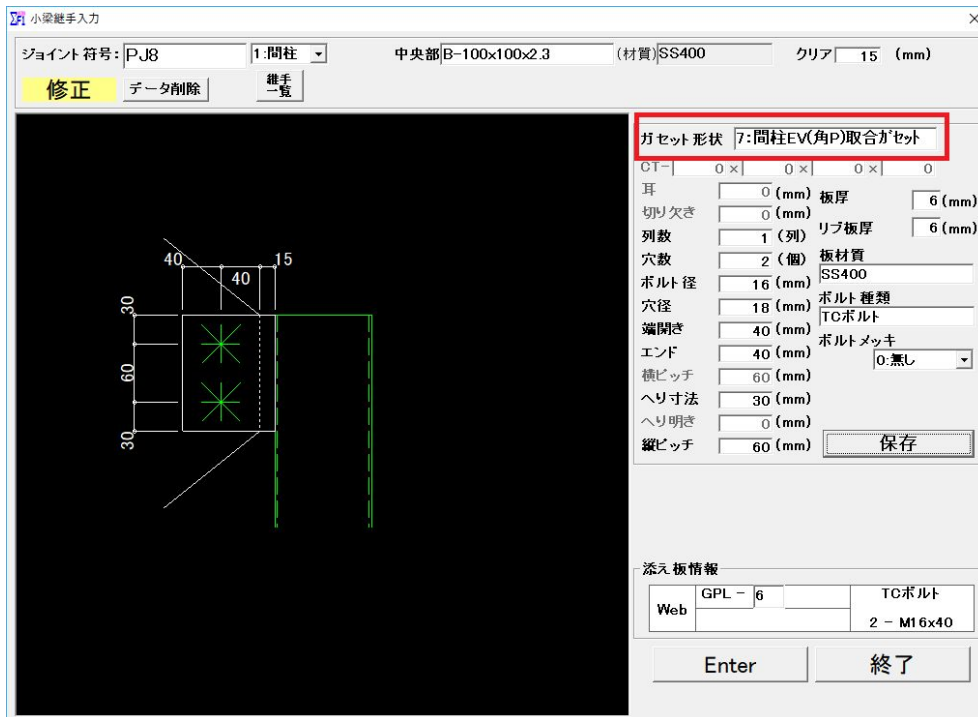
<梁部材入力>で設定し、梁切断リストで開先を表示します。

柱部材入力

本柱	符号	サイズ	材質	R	ベース符号	ジョイント	Enter
間柱	P8	H-100x50x5x7	SS400	8	P8	PJ8	
	開先	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無					

8. 間柱EV（角パイプ） ジョイントのタイプの追加

ジョイントのタイプ「7：間柱EV（角P）取合ガセット」を追加しました。

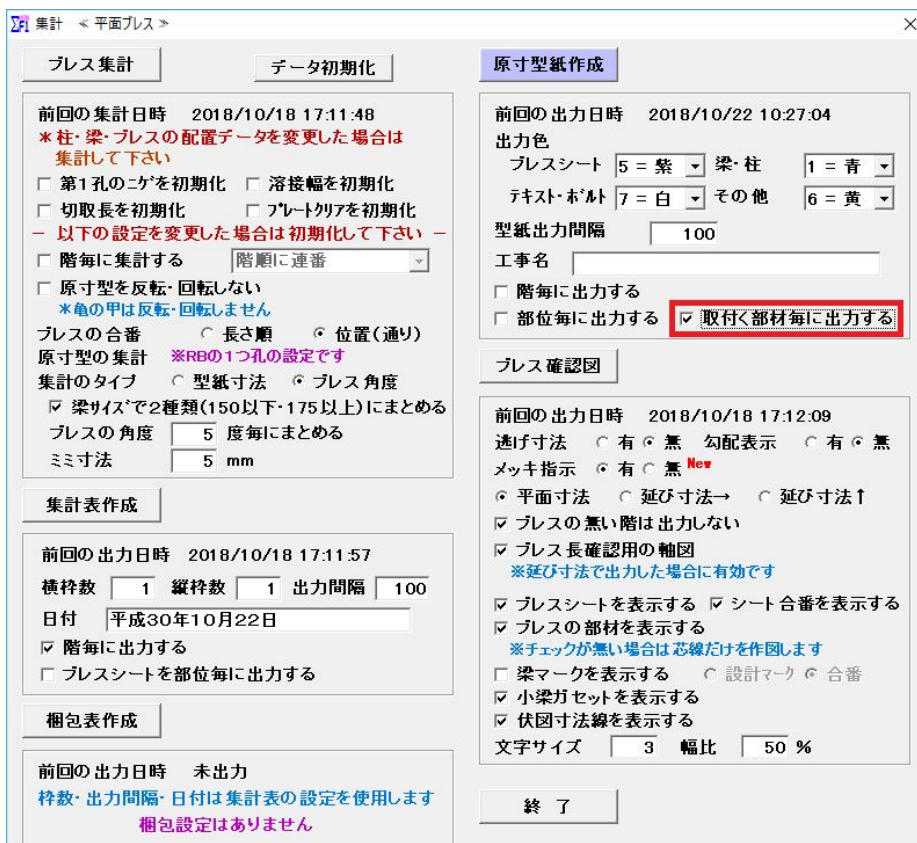


9. 間柱耐風梁配置 継手タイプ修正

継手タイプがガセットの場合は継手符号を無し（空欄）で配置できるようにしました。

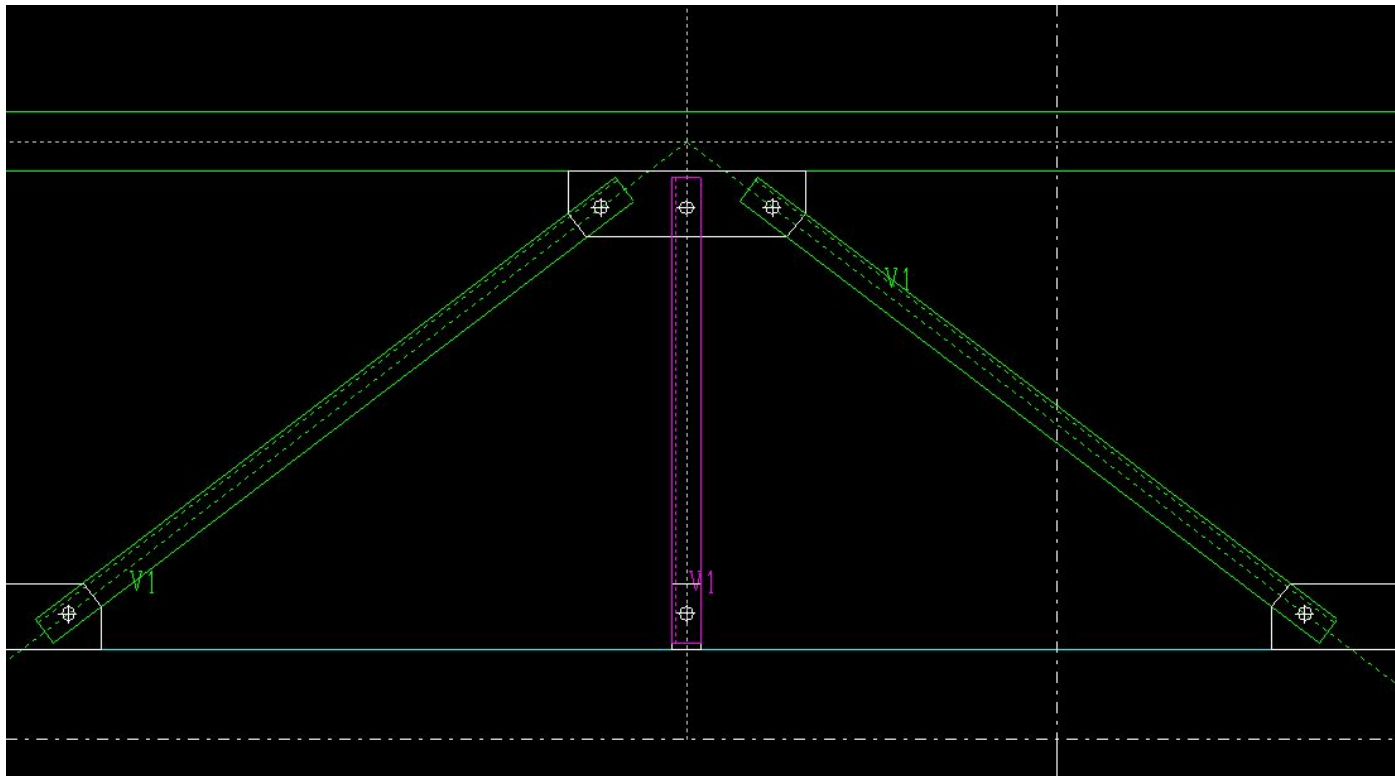
10. 平面ブレス ブレスシートの出力設定の追加

<平面ブレス配置> - <集計> - <取付く部材毎に出力する>のチェックを設けました。

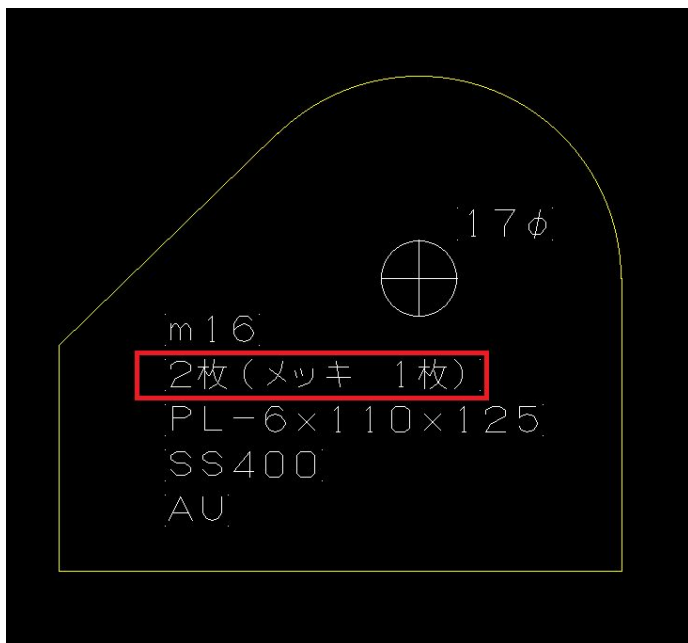


11. 平面ブレス 溶接梁に垂直配置の対応

他のブレスシートと結合する場合は垂直に配置した方を結合型にします。現状、斜め梁は対応していません。



12. 平面ブレス・軸ブレス 原寸型紙にメッキの枚数を表示



13. 軸ブレス 押えリブの修正

押えリブの溶接廻しを原寸型の溶接廻しの設定値から柱のリブの設定値にしました。

14. スリーブ ハイリング新形状追加 (Sタイプ, R+Sタイプ)

450R	<ハイリングⅢ>	<p>通り芯～スリーブ芯</p> <p>3000</p> <p>スリーブ孔径φ</p> <p>0</p> <p>既製品スリーブ</p> <p>貫通孔径φ 0</p> <p>枚数 1:片側, 2:両側 0</p> <p>梁天端からの下がり</p> <p>(0の場合は梁芯=孔芯)</p> <p>(梁芯以外の際は鉄骨天から-入力) 0</p> <p>キャンセル Enter</p>
450B	<ハイリングⅢ>	
500R	<ハイリングⅢ>	
550R	<ハイリングⅢ>	
600R	<ハイリングⅢ>	
100S	<ハイリングⅢ>	
125S	<ハイリングⅢ>	
150S	<ハイリングⅢ>	
175S	<ハイリングⅢ>	
200S	<ハイリングⅢ>	
225S	<ハイリングⅢ>	
250S	<ハイリングⅢ>	
275S	<ハイリングⅢ>	

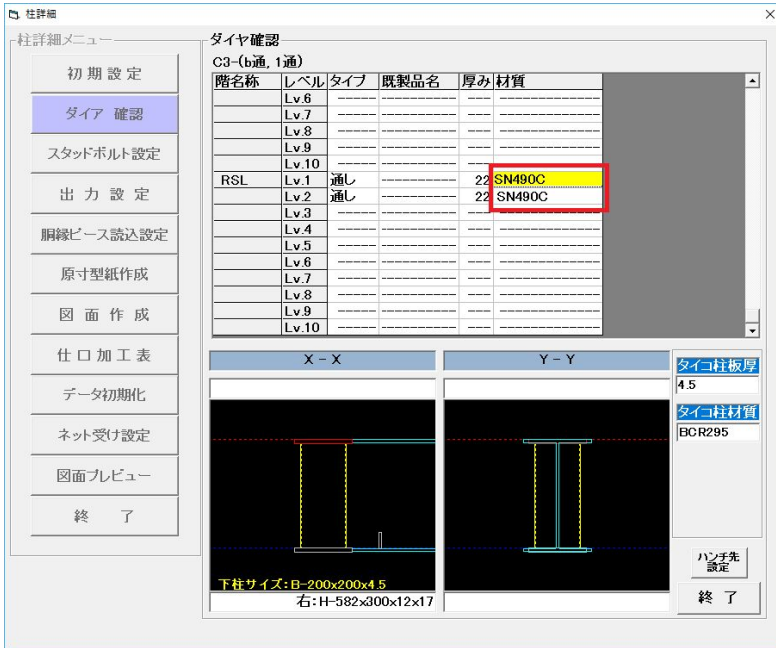
15. 折板受け 溶接プレートに対応

折板受け初期設定で現場溶接プレートの部材をFBで入力します。プレートリスト・積算データに出力します。

折板受け初期設定	
スライスからのクリア	120
柱面からのクリア	15
折板受け材	
B-75×75×2.3	
折板受け材質	SSC400
折板受け表示色	1
現場溶接プレート 部材	
FB-3×9	
材質	SS400
差し込み長さ	20
タイフレーム受長	0
タイフレーム受出	0
タイフレーム受材	
C-100×50×20×2.3	
タイフレーム材質	SSC400
(0=しない, 1=する)	1
折板受け符号	
タイフレーム受符号	
入力中・伏図に表示	1

16. ダイア修正 タイプ変更時の材質連動

<柱詳細>-<ダイヤ確認>タイプを「通し」「内」に変更時、材質も連動するよう対応しました。



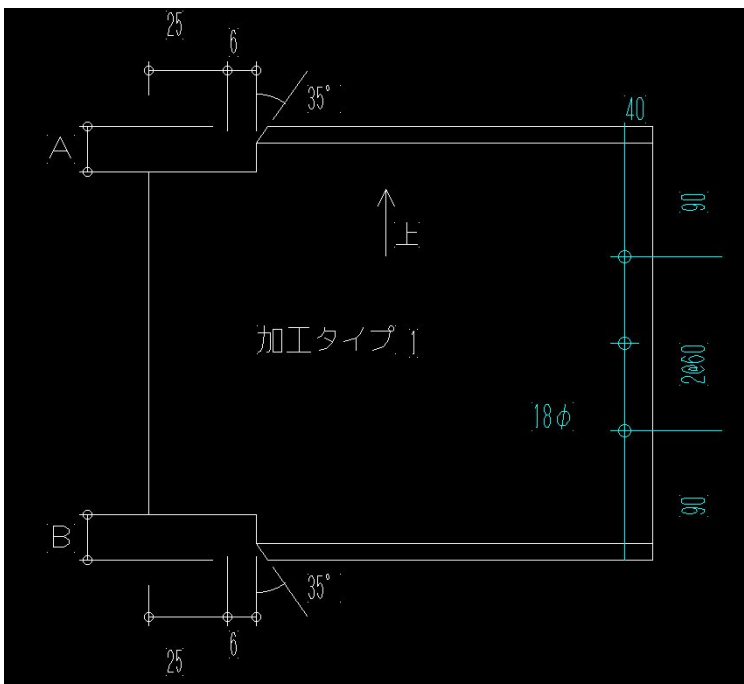
17. 胴縁ピース読込 斜め通りの内胴縁ピース（横胴縁）に対応

斜め通りの内胴縁ピース（横胴縁）に対応しました。柱詳細・単品、梁詳細・単品に胴縁ピースの絵が作図されます。通りの勾配と柱の回転角度が違う場合は対応していません。

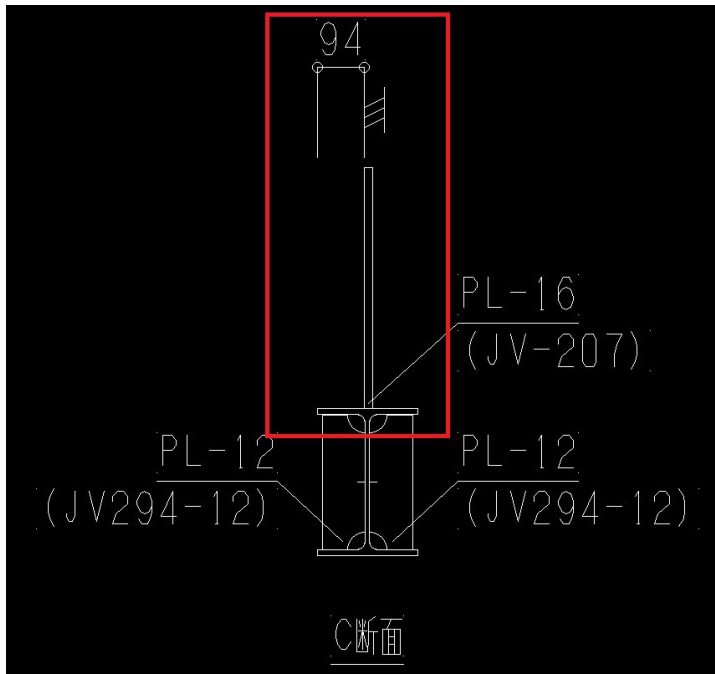
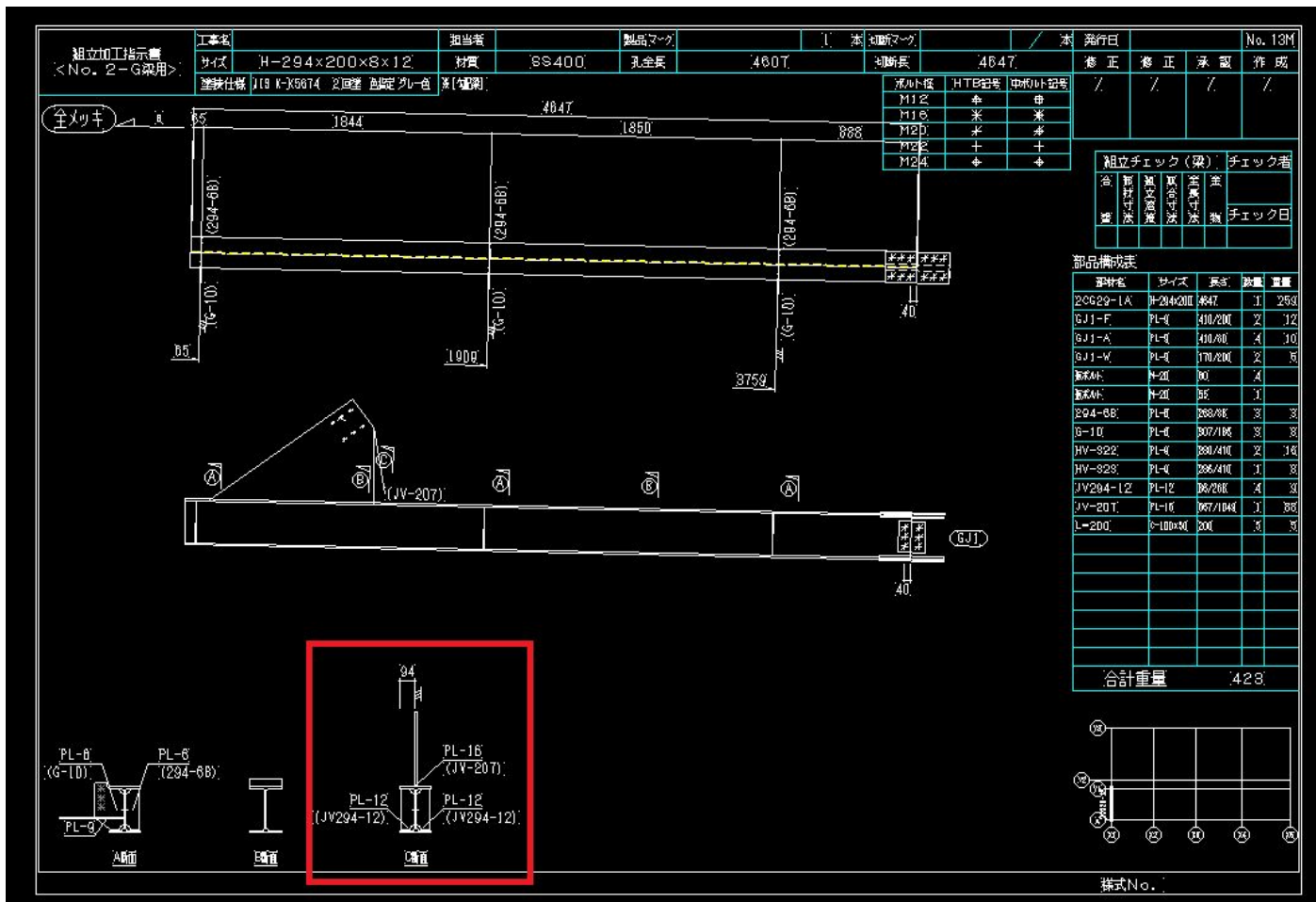
18. 胴縁ピース読込 内胴縁ピース（縦胴縁）に対応

柱詳細・単品、梁詳細・単品に胴縁ピースの絵が作図されます。

19. 仕口リスト ノンスラップのダイヤ部の作図を簡略化



20. 梁詳細図（単品図） 軸ブレスの断面図を表示



21. 梁単品図 断面倍率設定、ヒゲ形状選択追加

<梁詳細> - <単品加工図作成> - <設定>

単品加工図設定

設定 1 | 設定 2 | 設定 3 |

単品加工図設定 1

小梁追寸方向
 ←方向 方向→

追寸法タイプ
 横書き 縦書き

Enter

小梁ピッチ寸法出力
 有 無

ガセット板厚表示
 原寸表示 拡大表示

断面図タイプ、断面図倍率 New
 通常 梁詳細 倍

断面図位置
 右側 下側

勾配梁出力
 勾配なしで出力 勾配で出力

通り方向
 ← →

折板受け追寸出力
 有 無

キープラン位置、サイズ
 左側 右側 mm

吊りピース出力
 有 無

取付け位置設定

ヒゲ形状 New
 通常 旧タイプ

プレス角度表示
 有 無

プレス寸法タイプ
 追寸 ガセット面からの寸法

日付
 平成 年 月 日

工事略称

担当

図面数
 横 枚 縦 枚

文字サイズ
 mm

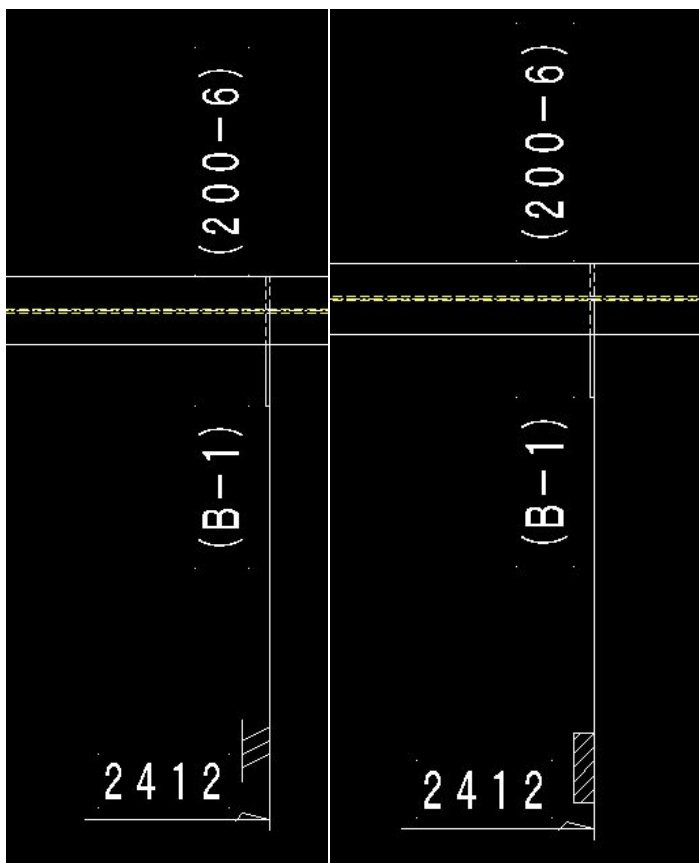
寸法値小数点以下
 出力する 出力しない (四捨五入)

ボルト記号、組立チェック出力
 ボルト記号表示 組立チェック表示

OK
 キャンセル

<通常>

<旧タイプ>



22. 材料リスト スプライスプレート、メッキの有無対応

メッキ範囲内の継手のスプライスプレートに関して、メッキの表示を出すよう対応しました。

23. 材料リスト 非破壊検査表の出力を追加

画面左上、「会社名」「抜取方法」を入力後、出力します。

24. 材料リスト メッキボルト設定の追加

<ジョイント>-<ボルト長設定>-<メッキボルトは5mm 足す>のチェックを設けました。

ボルト長 = ① + ② + ③ + 余長
 ただし、(① + ② + ③ + 余長) が最低長よりも短い場合
 ボルト長 = 最低長

メッキボルトは5mm 足す

ボルト最低長設定			ボルト長の1の位以下が、...	
ボルト径	余長	最低長		
M 16 の時	30 (mm)	40 (mm)	0.0 (mm)以上 2.9 (mm)以内ならば、1の位を 0 (mm)に変換	
M 20 の時	35 (mm)	45 (mm)	3.0 (mm)以上 7.9 (mm)以内ならば、1の位を 5 (mm)に変換	
M 22 の時	40 (mm)	50 (mm)	8.0 (mm)以上 9.9 (mm)以内ならば、1の位を 10 (mm)に変換	
M 24 の時	45 (mm)	55 (mm)		
M 12 の時	30 (mm)	40 (mm)		
M 0 の時	0 (mm)	0 (mm)		

HTB SHTB TCボルト 仮(中)ボルト ESC: 終了

25. 材料リスト ピン接建て方用仮ボルト設定追加

画面中央、「建て方用仮ボルトを出力する」にチェックを入れ、剛接合・ピン接合の仮ボルト本数のパーセントを入力します。最低本数は2本です。

例) 本ボルトが剛接合 16 本、ピン接合 6 本使用時、仮ボルト 33 パーセントと入力した場合

- ・ 剛接合 : 本ボルト 16 本 $\times 0.33 = 5.28$ + 5 本 = 仮ボルト 10 本
- ・ ピン接合 : 本ボルト 6 本 $\times 0.33 =$ 仮ボルト 2 本

材料リスト表

非破壊検査表

会社名

採取方法

リスト出力設定

出力 棒数 横数: 1 縦数: 1

小数点以下の表示 1 (1=表示する, 0=表示しない)
(※柱リスト、梁リスト、発注依頼書)

(軽量溝型)追寸方向 1 (1=←, 2=→)

担当者名

※会社名と電話番号は「図面レイアウト」で入力

出荷明細書

出荷明細書 第 1 回

出荷明細書 重量枠表示

表示する(柱・梁単品図から計算) 表示しない
(※重量計算に時間がかかります!!)

出荷明細書 プレス出力

全部材を出力 山形・溝形を出力 無

仮ボルト出力

建て方用仮ボルト 剛接合ボルトの 33 %

を出力する (最低本数2本) **New** ピン接合ボルトの 0 %

製品検査成績表(梁)

限界許容差を出力する 仕口寸法 上側 下側

階高を4方向表示する

製品検査成績表 小数点以下1位を表示する

製品検査成績表 通・否を表示する

製品検査成績表 (梁) 出力選択

<input checked="" type="checkbox"/> G1	大 梁	出力する部 材を選択し てください
<input checked="" type="checkbox"/> G2	大 梁	
<input type="checkbox"/> B1	小 梁	
<input type="checkbox"/> CG1	キャンティ梁	

大 梁

小 梁

キャンティ梁

材料リスト 出力

出力 工区番号
設定無し

DXF作成 TDF作成

ラベリング 出力

Excelファイル一覧

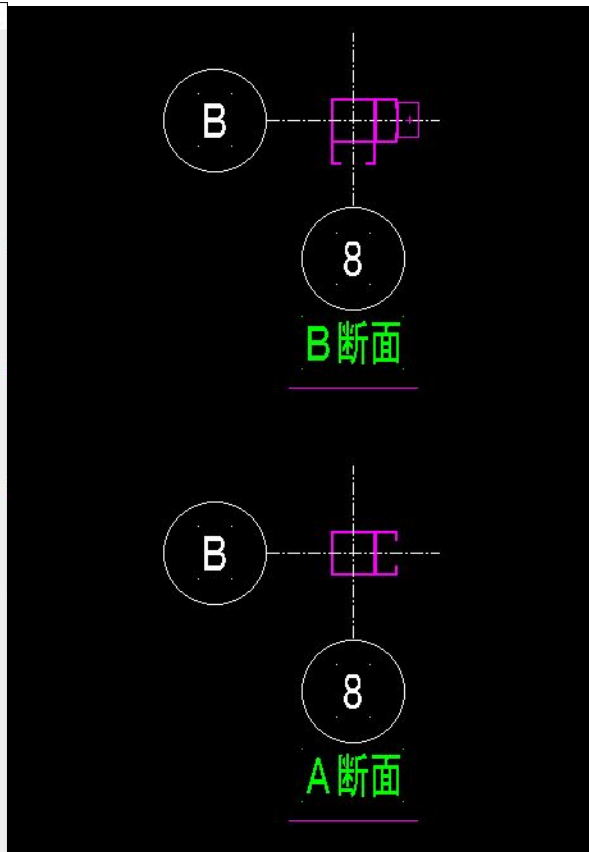
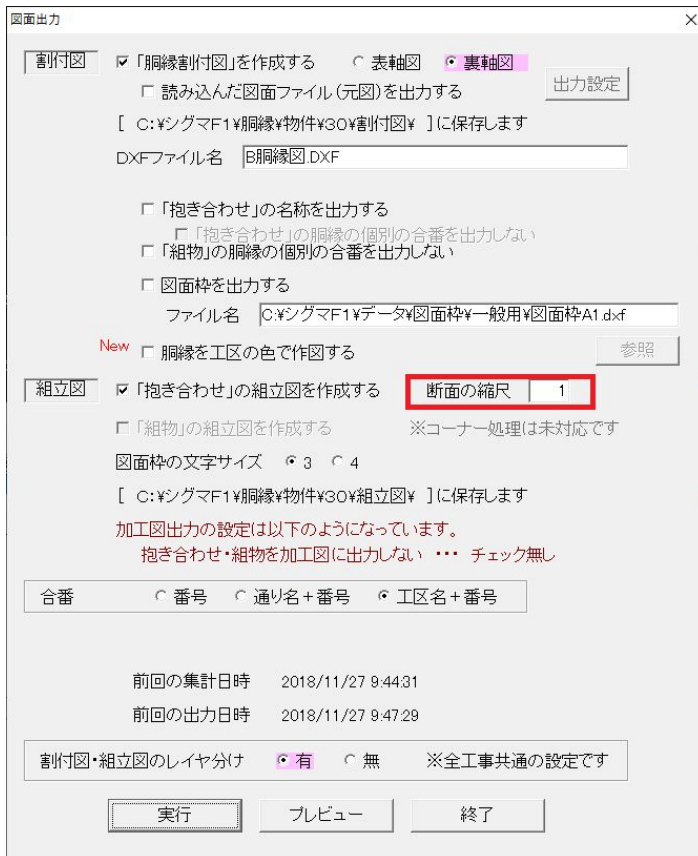
図面プレビュー

ジャストイン印刷

終 了

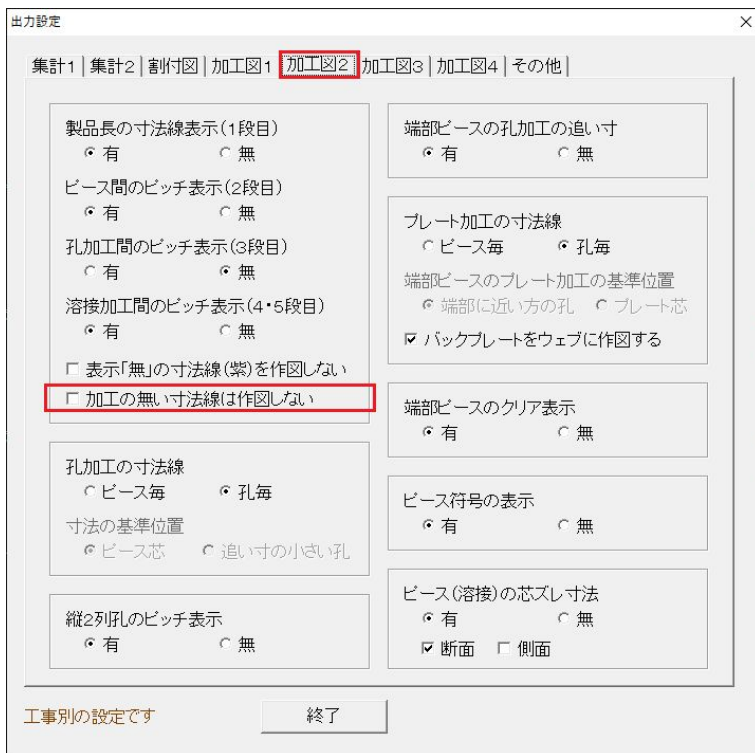
<胴縁システム>

1. 組立図 断面の縮尺設定、断面に通り芯を作図する



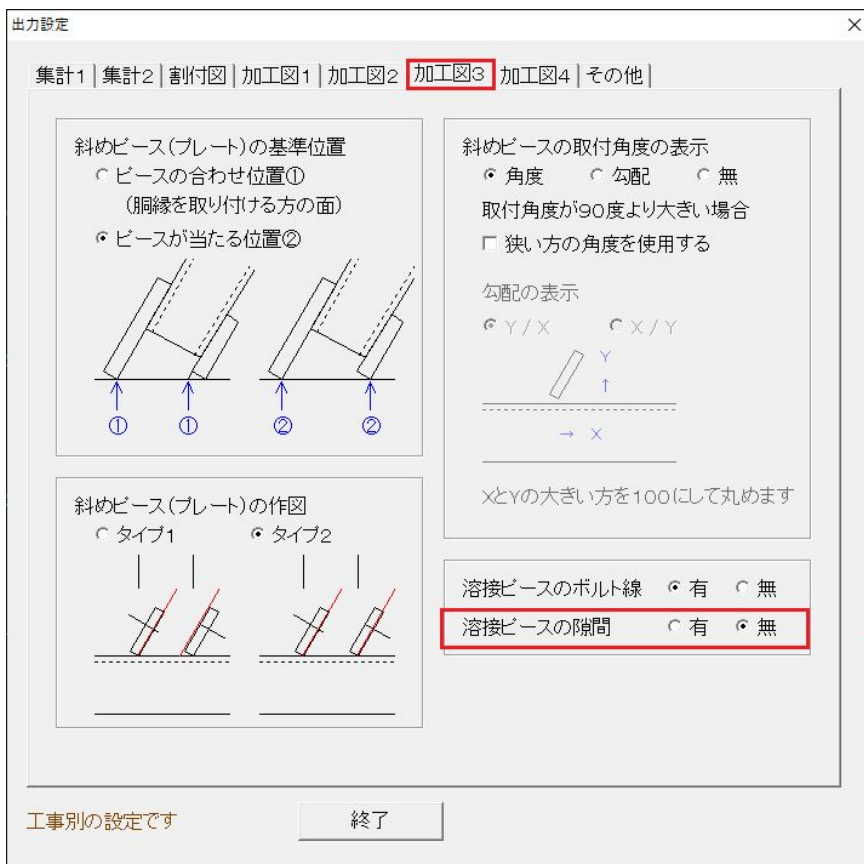
2. 加工図 寸法線の作図設定の追加

<初期設定> - <出力設定> - <加工図2>加工がある時だけ作図する設定を追加しました。



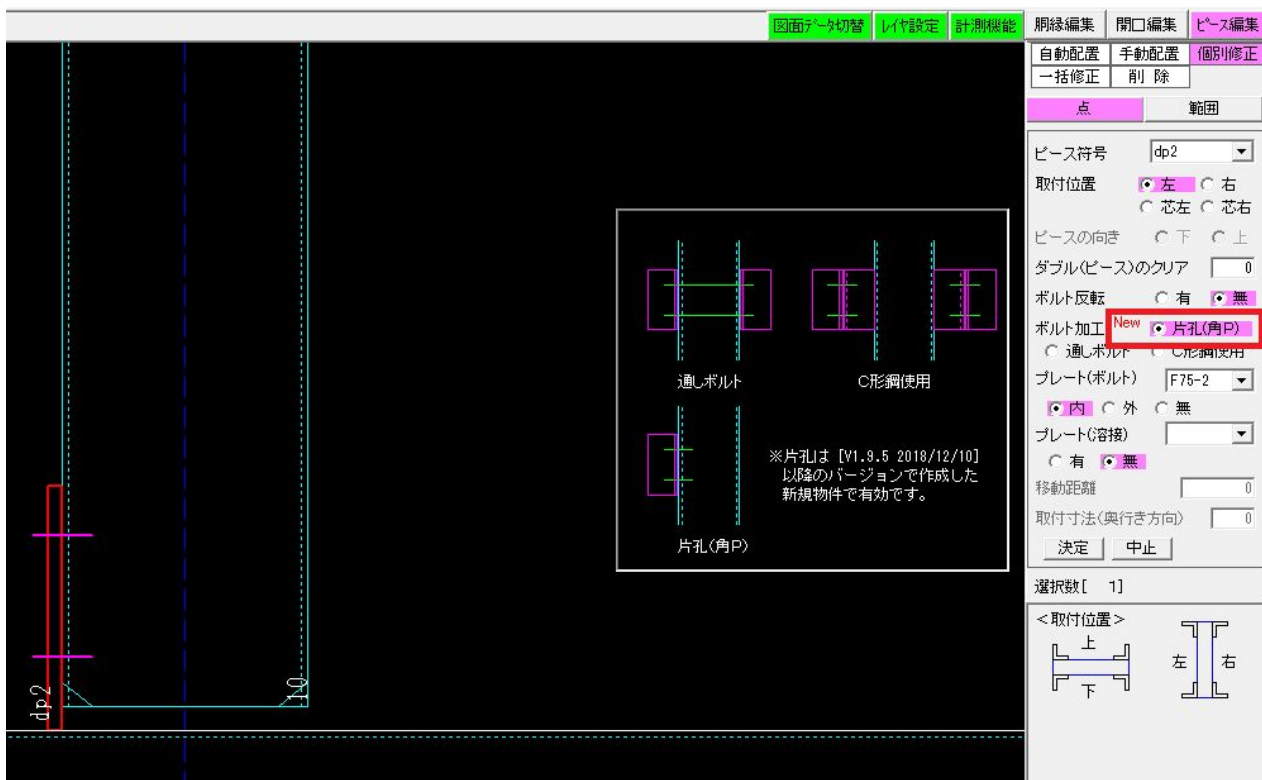
3. 加工図 溶接ピースの隙間の有無の設定を追加

<初期設定> - <出力設定> - <加工図2> 従来は隙間有りのみでしたが、設定を追加しました。



4. 加工図 角パイプの片孔に対応

ピース配置後に個別もしくは一括修正にて変更ができます。新規物件から適用です。



5. リスト作成 ピースの原寸型紙の出力を追加

リスト作成

出力先 汎用データ プリンタ

加工図 [C:¥シグマF1¥胴縁¥物件¥30¥加工図¥]
 ピースリスト [C:¥シグマF1¥胴縁¥物件¥30¥ピース¥]
 集計表 [C:¥シグマF1¥胴縁¥物件¥30¥集計表¥]

横枠数 縦枠数

出力日

会社名

胴縁合番 番号 通り名+番号 工区名+番号

加工図 全ての胴縁を出力 変更の有る胴縁だけを出力
 抱き合わせ・組物を加工図に出力しない

集計表 工区毎に改ページする(ピース・抱き合わせは除く)
 CSVファイル(鉄丸2用)を作成する

<input checked="" type="checkbox"/> 加工図	ページ数	17	用紙サイズ	A3縦(4段)
<input checked="" type="checkbox"/> ピースリスト	ページ数	1	用紙サイズ	A3
<input checked="" type="checkbox"/> 集計表	ページ数	3	用紙サイズ	A4
<input checked="" type="checkbox"/> ピース原寸型紙	ページ数	1	用紙サイズ	実寸

前回の出力日時 未出力

6. 画面表示 C材の刃を破線で作図する設定を追加

<初期設定> - <環境設定> - <画面表示1・図面表示1> ・C材の刃を破線で作図する設定を追加しました。

環境設定

基本の色 画面表示1 画面表示2 図面読込 図面出力1 図面出力2 | フォント | その他1 | < | >

胴縁システムで配置(認識)した胴縁等を、作図画面に表示する色と線種の設定です
 *画面に表示しない場合は、線種「無」を選択します

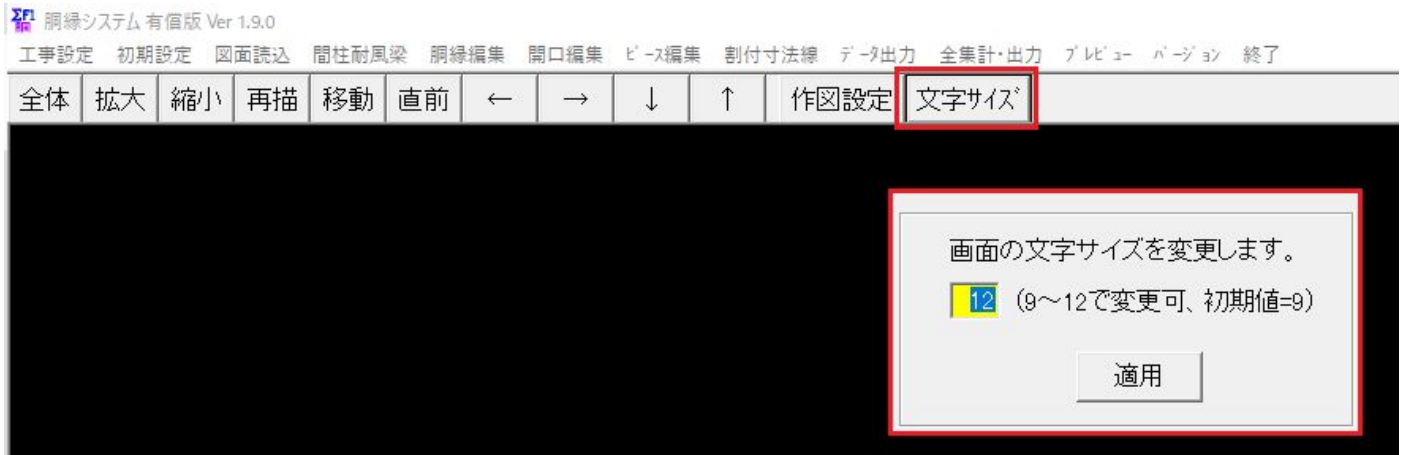
部材の厚みで色を分ける C材の刃を破線で作図する

胴縁 C材		実線
胴縁 DC材		実線
胴縁 その他		実線
胴縁基準線		破線
マグサ C材		実線
マグサ DC材		実線
マグサ その他		実線
マグサ基準線		破線
<input type="checkbox"/> 追加・修正した胴縁・マグサを網かけ		赤
耐風梁		実線
間柱		実線
内胴縁で使用した直線		実線

全工事共通の設定です

7. 画面表示 メニュー項目等の文字サイズの設定を追加

編集画面に画面上の文字サイズを変更するボタンを追加しました。



8. 画面表示の修正

朋縁編集の下記コマンドにおいて、編集画面に表示する項目を見直しました。

<朋縁合番>

「抱き合わせ」…抱き合わせの名称を表示、合番は表示無し

「組物」…組物の名称を表示、合番は表示無し

<クリア寸法>

「抱き合わせ」…表示無し

「DC 認識」…表示無し

<ピース符号>

「抱き合わせ」…表示無し

「工区」…表示無し

9. NCデータ作成 (オプション機能)

以下の修正を行いました。

<タケダ (F1W)・アマダ (ANC) >

L材の加工の反転の有無を選択できるようにしました。

<アマダ (ANC) >

縦朋縁の場合に図面読込の方向で矢印の向きを出力できるようにしました。

<タケダ (CSV) >

マーク番号設定、10を入力できるようにしました (従来は0~9)

端部の加工の移動の設定を追加しました。